認知症基本法施行を受けた取組と課題

2025年9月8日 認知症医療介護推進会議(公益社団法人 全日本病院協会)

1 認知症に係る当協会の取組

1-1. 研修事業

病院看護師のための
認知症対応力向上
研修会

身体疾患のために入院した認知症患者に対する病棟における対応力とケアの質の向上を図るための取組みや、多職種チームによる介入を評価する項目である「認知症ケア加算2・3」に対応した研修。また、「病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修」に該当する内容としても実施。

開始年 : 2016年
開催回数 : 15回
合計修了者数 : 4722名

全日本病院協会
総合医育成プロ
グラム

(公社)全日本病院協会が(一社)日本プライマリ・ケア連合学会及び筑波大学との協力のもと提供する、「医療運営」「診療実践」「ノンテクニカルスキル」の3分野から成る全34単位構成のプログラム。「診療実践」のプログラムとして「認知症」の講座を実施。

開始年 : 2018年
合計受講者数 : 423名
認定者数 : 123名

病院職員のための
認知症研修会(ユマ
ニチュード入門研
修)／病院管理者の
ためのユマニチュ
ード研修

【概要】
○ 2013年度より、認知症の方へのケアメソッドである「ユマニチュード」を学ぶ研修会。ユマニチュードの基本的な考え方と初歩的な実践を学ぶ2日間のプログラム。
○ 2020年度より、病院の管理者を主な受講対象とした研修会を開催。「ユマニチュードの哲学」を中心に基本的な考え方を学ぶとともに、具体的な病院等への実践事例について学ぶ。

<ユマニチュード入門>
開催回数:12回
修了者数:1100名
<管理者研修>
開催回数:5回
受講者数:323名

病院医療ソーシャル
ワーカーと多職種
で取組む入退院支
援研修会

ソーシャルワーカーを含む多職種参加による、入退院支援のあり方について通じてともに考えるワークショップ形式の研修会。「浮かび上がらせ支援」という概念を中心に、**認知症事例**で臨床倫理やマーケティング等、様々な視点から地域における支援のあり方、役割について検討。

開始年 : 2013年
開催回数 : 13回
合計修了者数 : 1005名

1 認知症に係る当協会の取組

1-2.調査研究・提言等

認知症施策推進基本計画の策定に向けて(意見書)

2024年5月の内閣官房「認知症施策推進関係者会議」において、全日本病院協会として「認知症施策推進基本計画の策定に向けて(意見書)」を提示した。主に「認知症の方の尊厳の保持」に関して「1. 市民に対する情報不足」「2. 医療・介護現場で働く人の情報不足」「3. 仕組みの問題」の3点について指摘し、ACPやADの取り扱いや、ALP(Advanced Life Planning)の概念等について言及した。

高齢者入院対応におけるマンパワーにたいして、診療報酬での評価が不十分である。急性期(基幹病院～地域密着型病院)においても、高齢者緊急入院対応は人口動態の変化から鑑みても増えていく。包括期～療養期では、在宅療養に移行できない困難事例を受け容れる役割が増えている。そこに対しては、マンパワーが必要であり、そのための入院基本料等の評価を十分されると、医療機関は患者の尊厳のために労力と心を使うと思われる。株式会社参入の介護事業等にとって変わられるより、医療者、病院が担うことで、正しい医療と尊厳保持の両立に向かうと考える。

認知症の医療提供体制に関する調査研究

なし

2 認知症基本法施行を受けての課題

就労人口減少・高齢社会において、基幹病院から地域密着型病院まであらゆる医療機関、関連施設において、高齢者の入院加療に対応しなければならない。

認知症施策④：認知症の人の意思決定の適切な支援及び権利利益を図るための施策

①高齢入院患者の認知症対応力強化

- 入院時に本人らしさを知るために、地域との情報共有の簡便化。DXを駆使した情報共有プラットフォーム構築支援。
- 意思決定の適切な支援をするために、必要なマンパワー、研修にかかるコスト補填。

②ケアラー支援(適切な支援があれば、尊厳が保たれ、適切な意思決定に向かう)

- 認知症患者のケアのために、家族の時間が犠牲にならないよう、デイ、ショート、カフェ、施設、居宅ヘルパー等の充実が必要。
- 他業種との取り合いになるため、人員の確保にあたってはインセンティブ強化が不可欠。

③移動手段のための交通手段の確保(適切な支援があれば、尊厳が保たれ、適切な意思決定に向かう)

- 認知症の方に限らず、高齢者・障がい者施策においてもとても重要で、必要不可欠。
- 現場目線で見た場合、現在運用されているサービス間の連携が不十分であり、効率的な運用が課題と感じている。

2 認知症基本法施行を受けての課題

就労人口減少・高齢社会において、基幹病院から地域密着型病院まであらゆる医療機関、関連施設において、高齢者の入院加療に対応しなければならない。

認知症施策⑤:保健医療サービスおよび福祉サービスの提供体制の整備について

①高齢者の入院対応力強化(急性期)

- 専門分化された現行の医療提供体制において、病院全体として、高齢医療の理解推進を図る。
 - ・具体的には、特に急性期・医育機関において、身体拘束率を減らしている医療機関の事例を共有し、組織として取り組むということについて、モデル戦略を提示していく。
 - ・高齢者入院対応力強化は、看護師＝ケアだけではなく、医師もアセスメント、指示において、知識を持つ必要がある。
- 医療機関においては、せん妄とBPSDの違いをしっかりと判断し、対処できるようにすることが不可欠。
- 正しい高齢者入院対応力を身につける効果として、不要な鎮静薬、廃用を減らし、在院日数の短縮、在宅復帰率上昇などのアウトプットを示していく。
- 認知症患者対応で、意図せぬ暴力をうける現場職員に対するマネジメント・支援体制。

②高齢者の入院対応力強化(包括期・療養期)

- 在宅復帰に向けて、病院全体として、高齢医療の理解推進を図る。
 - ・具体的には、身体拘束率を減らしている医療機関の事例を共有し、組織として取り組むということについて、モデル戦略を提示していく。
 - ・高齢者入院対応力強化は、看護師＝ケアだけではなく、医師もアセスメント、指示において、知識を持つ必要がある。
- 正しい高齢者入院対応力を身につける効果として、不要な鎮静薬、廃用を減らし、在院日数の短縮、在宅復帰率上昇などのアウトプットを示していく。

2 認知症基本法施行を受けての課題

就労人口減少・高齢社会において、基幹病院から地域密着型病院まであらゆる医療機関、関連施設において、高齢者の入院加療に対応しなければならない。

認知症施策⑤:保健医療サービスおよび福祉サービスの提供体制の整備について

③認知症のかたの尊厳の保持

- 当事者のできることを奪わず、その人らしい療養生活を保持することが肝要。
- 尊厳を保持する場(カンファレンス・情報共有プラットフォーム(DX))の整備のための、学習の場、マンパワー、DX環境整備費用についての提示。アウトプットの提示。

④地域のステークホルダーとの顔の見える連携のもと展開される情報プラットフォーム、入退院支援

- 生活の場への一層の早期退院のため、地域ステークホルダーが不安である医療の部分の支援の展開(地域密着型病院と医師会、診療所、在宅専門診療所との連携など)
- これまでの入院適応の変化の見える化
在宅療養施設のロングショート、緊急対応力強化で、入院しなくてもいい事例、ケースの共有(圧迫骨折の安静環境など)

⑤認知症に関する国民の理解の増進

- 入院後の転倒転落などについて、身体拘束との関連と、家族の理解啓発。
- 暴言や問題行動といわれるものの中には、認知症の家族と毎日向き合っている中で、どうにもならない状況の中で発せられるものも多く、「普通の家族」が多いことを共通認識とする。
- 内容は、国民向けと医療機関・介護施設機関職員向け、いずれも同じ内容であるべき。
広くそうした認識を共有する場を提供する必要。
[Ex.福岡市などにおけるユマニチュード推進の取組み 等]

2 認知症基本法施行を受けての課題

就労人口減少・高齢社会において、基幹病院から地域密着型病院まであらゆる医療機関、関連施設において、高齢者の入院加療に対応しなければならない。

認知症施策⑤:保健医療サービスおよび福祉サービスの提供体制の整備について

⑥認知症患者 対応コーディネートする人へのインセンティブ強化

- 地域におけるケアマネージャー、地域包括支援センターの機能強化が重要。ここが十分に機能することで、余分な入院や、地域医療体制のバランスが崩れることに伴う、認知症患者へのネガティブなイメージの進展を防ぐことが可能となる。
- 機能強化に伴っては、インセンティブ強化が必要。
- DX推進も重要であり、特にケアマネージャーの書類作成支援はDXで時間短縮が可能で、現場でのケアマネジメントにより多くの時間を割くことが可能となる。早急な支援が必要

2 認知症基本法施行を受けての課題

就労人口減少・高齢社会において、基幹病院から地域密着型病院まであらゆる医療機関、関連施設において、高齢者の入院加療に対応しなければならない。

認知症施策⑥:相談体制の整備等

①地域密着型病院の外来における相談体制整備

- 外来看護師の在宅療養支援活動の言語化。それに対するインセンティブ評価。
地域とのつなぎ目としての役割整備。
- 地域連携室の役割の言語化。それに対するインセンティブ評価。
- DXにかかる費用評価。